

基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更									
フリガナ設置者	ガッコウホクシツンジュンテンドウ 学校法人順天堂									
フリガナ大学の名称	ジュンテンドウガクイフクガクイフクイン 順天堂大学大学院									
大学本部の位置	東京都文京区本郷2丁目1番1号									
大学の目的	順天堂大学大学院は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学、スポーツ健康科学、医療看護学、理学療法学、診療放射線学及び国際教養学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的及び使命とする。									
新設研究科等の目的	卓越した専門知識を有する指導の高度医療専門職者や、拡大を続ける理学療法学分野における研究を積極的に推進し、質の高い理学療法の基盤を創造する教育・研究者を育成することを目的とする。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部等】 保健医療学部理学療法学科 保健医療学研究科理学療法学専攻修士課程 14条特例の実施
	保健医療学研究科 [Graduate School of Health Science]	年	人	年次 人	人	博士（理学療法学） 【Doctor of Philosophy (Physical Therapy)】	保健衛生学関係	令和7年4月 第1年次	東京都文京区本郷2丁目1番1号	
	理学療法学専攻 博士後期課程 [Doctoral Program in Physical Therapy]	3	4	-	12			同上		
計			4	-	12					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	<p>大学院保健医療学研究科 理学療法学専攻（博士後期課程） (4) (令和6年3月認可申請) 診療放射線学専攻（博士後期課程） (4) (令和6年3月認可申請)</p> <p>令和7年4月名称変更予定 大学院保健医療学研究科理学療法学専攻 修士課程 → 博士前期課程 大学院保健医療学研究科診療放射線学専攻 修士課程 → 博士前期課程</p> <p>大学院保健医療学研究科 理学療法学専攻（修士課程） [定員増] (3) (令和6年4月届出予定) 診療放射線学専攻（修士課程） [定員増] (3) (令和6年4月届出予定)</p> <p>大学院スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻（博士前期課程） [定員増] (9) (令和6年4月届出予定)</p> <p>大学院健康データサイエンス研究科（令和6年3月認可申請） 健康データサイエンス専攻（博士前期課程） (20) 健康データサイエンス専攻（博士後期課程） (6)</p>									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数		10単位
	保健医療学研究科 理学療法学専攻 博士後期課程	講義 3科目	演習 9科目	実験・実習 0科目	計 12科目					

研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)		
		教授	准教授	講師	助教	計				
新設分	保健医療学研究科 理学療法学専攻博士後期課程	5 (5)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)		
	計	5 (5)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	— (—)		
既設分	医学研究科 医科学専攻(修士課程)	49 (49)	94 (94)	1 (1)	18 (18)	162 (162)	0 (0)	35 (35)	修士課程と博士課程、博士前期課程と博士後期課程とで重複する教員がいるため、「計」及び「合計」欄は重複を除いた実人数としている。	
	医学研究科 医学専攻(博士課程)	196 (196)	234 (234)	3 (3)	43 (43)	476 (476)	0 (0)	78 (78)		
	スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻(博士前期課程)	14 (14)	36 (36)	1 (1)	11 (11)	62 (62)	0 (0)	14 (14)		
	スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻(博士後期課程)	13 (13)	20 (20)	0 (0)	2 (2)	35 (35)	0 (0)	2 (2)		
	医療看護学研究科 看護学専攻(博士前期課程)	24 (24)	29 (29)	2 (2)	10 (10)	65 (65)	0 (0)	168 (168)		
	医療看護学研究科 看護学専攻(博士後期課程)	15 (15)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	14 (14)		
	保健医療学研究科 理学療法学専攻(修士課程)	4 (4)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	14 (14)		
	保健医療学研究科 診療放射線学専攻(修士課程)	6 (6)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	14 (14)		
	国際教養学研究科 国際教養学専攻(修士課程)	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	6 (6)		
	計	251 (251)	321 (321)	12 (12)	66 (66)	650 (650)	0 (0)	— (—)		
	合計	251 (251)	321 (321)	12 (12)	66 (66)	650 (650)	0 (0)	— (—)		
	職 種		専 属			そ の 他		計		
事務職員		834人 (834)			998人 (998)		1,832人 (1,832)			
技術職員		39 (39)			263 (263)		302 (302)			
図書館職員		8 (8)			7 (7)		15 (15)			
その他の職員		5,416 (5,416)			795 (795)		6,211 (6,211)			
指導補助者		0 (0)			0 (0)		0 (0)			
計		6,297 (6,297)			2,063 (2,063)		8,360 (8,360)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計				
	校舎敷地	315,441㎡	0㎡	0㎡		315,441㎡				
	その他	146,987㎡	0㎡	0㎡		146,987㎡				
	合計	462,428㎡	0㎡	0㎡		462,428㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計				
		171,105㎡ (171,105㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		171,105㎡ (171,105㎡)				
講義室等・新設研究科等の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室					
		138室	275室	192室	13室				大学全体	

図書・設備	新設研究科等の名称	図書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	研究科等单位での特定不能なため、大学全体の数	
		[うち外国書]	電子図書	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	[うち外国書]	種	[うち外国書]				
保健医療学研究科 理学療法学専攻 博士後期課程	301,912 [105,075] (301,912 [105,075])	13,417 [4,393] (13,417 [4,393])	5,381 [2,007] (5,381 [2,007])	46,557 [44,843] (46,557 [44,843])	69,711 (69,711)	128 (128)			
計	301,912 [105,075] (301,912 [105,075])	13,417 [4,393] (13,417 [4,393])	5,381 [2,007] (5,381 [2,007])	46,557 [44,843] (46,557 [44,843])	69,711 (69,711)	128 (128)			
スポーツ施設等	スポーツ施設 19,843㎡		講堂 4,866㎡		厚生補導施設 15,141㎡		大学全体		
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	研究科単位での算出不能なため、保健医療学部との合計 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
	経費の見積り								
	教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	－千円	－千円	－千円	
	共同研究費等		3,250千円	3,250千円	3,250千円	－千円	－千円	－千円	
	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－千円	－千円	－千円	
	設備購入費	1,875千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－千円	－千円	－千円	
学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		825千円	625千円	625千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、事業収入、補助金収入等の一部を充当する								
既設大学等の状況	大学等の名称	順天堂大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	大学院 医学研究科 医科学専攻 (修士課程)	2	60	—	120	修士 (医科学)	1.55	平成 25年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
	大学院 医学研究科 医学専攻 (博士課程)	4	180	—	720	博士 (医学)	1.00	昭和 34年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
	大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士前期課程)	2	61	—	122	修士 (スポーツ健康科学)	1.06	平成 9年度	千葉県印西市平賀学 園台1丁目1番地
	大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (スポーツ健康科学)	1.33	平成 12年度	千葉県印西市平賀学 園台1丁目1番地
	大学院 医療看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士 (看護学)	1.10	平成 19年度	千葉県浦安市高洲 2丁目5番1号
	大学院 医療看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	3	12	—	36	博士 (看護学)	1.00	平成 26年度	千葉県浦安市高洲 2丁目5番1号
大学院 保健医療学研究科 理学療法学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (理学療法学)	3.80	令和 5年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	

大学院 保健医療学研究科 診療放射線学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (診療放射線学)	1.80	令和 5年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	
大学院 国際教養学研究科 国際教養学専攻 (修士課程)	2	5	—	5	修士 (国際教養学)	—	令和 6年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	※国際教養学専攻(修士課程) 令和6年度開設(5人)
医学部 医学科	6	140	—	829	学士 (医学)	1.00	昭和 27年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	※医学部医学科 令和2年度入学定員減 (5人) 令和3年度入学定員増 (1人) 令和4年度入学定員増 (2人) 令和5年度入学定員増 (2人)
スポーツ健康科学部									
スポーツ健康科学科	4	600	—	2400	学士 (スポーツ健康科学)	1.02	令和 3年度	千葉県印西市平賀学 園台1丁目1番地	
スポーツ科学科	4		—	—	学士 (スポーツ科学)	—	平成 5年度	千葉県印西市平賀学 園台1丁目1番地	※スポーツ科学科 令和3年度より学生募 集停止
スポーツマネジメント学科	4		—	—	学士 (スポーツマネジメント学)	—	平成 5年度	千葉県印西市平賀学 園台1丁目1番地	※スポーツマネジメント学科 令和3年度より学生募 集停止
健康学科	4		—	—	学士 (健康学)	—	平成 5年度	千葉県印西市平賀学 園台1丁目1番地	※健康学科 令和3年度より学生募 集停止
医療看護学部 看護学科	4	220	—	860	学士 (看護学)	0.99	平成 16年度	千葉県浦安市高洲 2丁目5番1号	※医療看護学部令 和4年度入学定員増 (20人)
保健看護学部 看護学科	4	160	—	540	学士 (看護学)	1.01	平成 22年度	静岡県三島市大宮町 3丁目7番33号	※保健看護学部 令和4年度入学定員増 (10人)
国際教養学部 国際教養学科	4	240	—	960	学士 (国際教養学)	0.95	平成 27年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	令和6年度入学定員増 (30人)
保健医療学部 理学療法学科	4	120	—	480	学士 (理学療法学)	1.00	平成31 年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	
診療放射線学科	4	120	—	480	学士 (放射線技術学)	1.00	平成31 年度	東京都文京区本郷 2丁目1番1号	
医療科学部									※医療科学部令和4年 度開設
臨床検査学科	4	110	—	330	学士 (臨床検査学)	1.01	令和4 年度	千葉県浦安市日の出 6丁目8-1	※臨床検査学科 令和4年度開設 (110人)
臨床工学科	4	70	—	210	学士 (臨床工学)	1.00	令和4 年度	千葉県浦安市日の出 6丁目8-1	※臨床工学科 令和4年度開設 (70人)
健康テクノロジー学部 健康テクノロジー学科	4	100	—	200	学士 (健康テクノロジー学)	1.01	令和5 年度	千葉県浦安市日の出 6丁目8-1	※健康テクノロジー学部 令和5年度開設 (100人)
薬学部 薬学科	4	180	—	180	学士 (薬学)	—	令和6 年度	千葉県浦安市日の出 6丁目8-1	※薬学部 令和5年度開設 (180人)

附属施設の概要	<p>1 順天堂大学医学部附属順天堂医院 (目的) 医療活動 (所在地) 東京都文京区本郷3丁目1番3号 (設置年月) 明治6年2月 (病床数) 1,051床 (規模等) 土地: 15,519.81㎡ 建物: 113,511.05㎡</p>
	<p>2 順天堂大学医学部附属静岡病院 (目的) 医療活動 (所在地) 静岡県伊豆の国市長岡1129番地 (設置年月) 昭和42年4月 (病床数) 633床 (規模等) 土地: 56,802.16㎡ 建物: 84,490.76㎡</p>
	<p>3 順天堂大学医学部附属浦安病院 (目的) 医療活動 (所在地) 千葉県浦安市富岡2丁目1番1号 (設置年月) 昭和59年5月 (病床数) 785床 (規模等) 土地: 32,234.03㎡ 建物: 68,309.49㎡</p>
	<p>4 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 (目的) 医療活動 (所在地) 埼玉県越谷市袋山560番地 (設置年月) 平成元年4月 (病床数) 226床 (規模等) 土地: 16,946.69㎡ 建物: 6,524.22㎡</p>
	<p>5 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター (目的) 医療活動 (所在地) 東京都江東区新砂3丁目3番20号 (設置年月) 平成14年6月 (病床数) 404床 (規模等) 土地: 3,655.21㎡ 建物: 35,131.36㎡</p>
	<p>6 順天堂大学医学部附属練馬病院 (目的) 医療活動 (所在地) 東京都練馬区高野台3丁目1番10号 (設置年月) 平成17年7月 (病床数) 490床 (規模等) 土地: 17,900.18㎡ 建物: 41,328.60㎡</p>
	<p>7 さくらキャンパス体育館 (第1, 第2, 第3, OGAWA GYMNASTICS ARENA) (目的) 教育研究施設 (所在地) 千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 (設置年月) 第1体育館 昭和63年4月 第2体育館 平成4年4月 第3体育館 令和5年7月 OGAWA GYMNASTICS ARENA 平成29年4月 (規模等) 第1体育館 7,332.28㎡ 延床面積 第2体育館 1,249.15㎡ 第3体育館 6,132.72㎡ OGAWA GYMNASTICS ARENA 3,515.87㎡ 合計 18,230.02㎡</p>
	<p>8 浦安・日の出キャンパス薬用植物園 (目的) 教育研究施設 (所在地) 千葉県浦安市日の出6丁目8-1 (設置年月) 令和7年3月 (予定) (規模等) 889.60㎡</p>

教 育 課 程 等 の 概 要																
(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		専任教員以外の教員
専門科目	神経・運動制御理学療法学特講	1通	○		2		○			2	2	1				オムニバス
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅰ	2前	○		2			○		2	2	1				オムニバス
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅱ	2後	○		2			○		2	2	1				オムニバス
	運動器・スポーツ理学療法学特講	1通	○		2		○			2	1	1				オムニバス
	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅰ	2前	○		2			○		2	1	1				オムニバス
	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅱ	2後	○		2			○		2	1	1				オムニバス
	内部機能障害理学療法学特講	1通	○		2		○			1	2					オムニバス
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅰ	2前	○		2			○		1	2					オムニバス
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ	2後	○		2			○		1	2					オムニバス
小計(9科目)	—	—	—	0	18	0	—	—	—	5	5	2				
演習・研究指導	神経・運動制御理学療法学特別研究	1～3通	○		4			○		2	2	1				
	運動器・スポーツ理学療法学特別研究	1～3通	○		4			○		2	1	1				
	内部機能障害理学療法学特別研究	1～3通	○		4			○		1	2					
	小計(3科目)	—	—	—	0	12	0	—	—	5	5	2				
合計(12科目)		—	—	—	0	30	0	—	—	5	5	2				
学位又は称号		博士(理学療法学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
<p><修了要件> 原則として大学院に3年以上在籍し、10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間については、本学大学院保健医療学研究科において優れた研究業績を上げたと認められるものについては、2年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p><履修方法> ・専門科目は、各自の専門領域に応じて「神経・運動制御理学療法学特講」「運動器・スポーツ理学療法学特講」「内部機能障害理学療法学特講」から2単位以上、且つ「神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅰ」「神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅱ」「運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅰ」「運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅱ」「内部機能障害理学療法学特講演習Ⅰ」「内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ」から4単位以上修得すること。 ・演習・研究指導は、各自の専門領域に応じて「神経・運動制御理学療法学特別研究」「運動器・スポーツ理学療法学特別研究」「内部機能障害理学療法学特別研究」から4単位以上修得すること。</p>									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

授 業 科 目 の 概 要				
(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目	神経・運動制御理学療法学特講	○	<p>(概要)</p> <p>神経・運動制御理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、中枢神経疾患における機能障害、能力障害、高次脳機能障害といった各種神経症状についての病態の理解を深めるとともに、中枢神経疾患に関連する臨床的課題について最新の研究を探求し、神経科学的、神経生理学的、病態生理学的、認知科学的な視点からの批判的な討議を通して、最新の知見について理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1 藤原俊之/3回)</p> <p>神経・運動制御理学療法学に対する理学療法、電気生理学的検査と理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(5 松田雅弘/3回)</p> <p>運動学・運動力学的分析手法、工学的分析手法を用いた理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(9 春山幸志郎/3回)</p> <p>脳は筋電図コヒーレンス、ニューロリハビリテーション治療と理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(10 高橋容子/3回)</p> <p>電気生理学的検査、歩行のシナジー性と非線形性に関する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(12 藤野雄次/3回)</p> <p>ニューロリハビリテーション治療、工学的手法を用いた理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p>	オムニバス方式
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅰ	○	<p>(概要)</p> <p>神経・運動制御理学療法学領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、神経生理学的、病態生理学的、認知科学的、神経科学に関連する研究論文や最先端テクノロジーに関連する研究動向を広く探索し、論文レビューや臨床的疑問に基づき研究課題を決定し、研究の仮説、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的に討議し、各自の研究に応用できる研究遂行能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きた内容についてまとめる。討議の資料作成を通して図表の作成方法など研究成果発表に必要な技術を学修することで、汎用性の高いテクニックを身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1 藤原俊之/2回)</p> <p>神経・運動制御理学療法学に対する理学療法、電気生理学的検査に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(5 松田雅弘/2回)</p> <p>運動学・運動力学的分析手法、工学的分析手法を用いた理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(9 春山幸志郎/2回)</p> <p>脳は筋電図コヒーレンス、ニューロリハビリテーション治療と理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(10 高橋容子/2回)</p> <p>電気生理学的検査、歩行のシナジー性と非線形性に関する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(12 藤野雄次/2回)</p> <p>ニューロリハビリテーション治療、工学的手法を用いた理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(1 藤原俊之、5 松田雅弘、9 春山幸志郎、10 高橋容子、12 藤野雄次/5回)</p> <p>論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画についてのプレゼンテーションおよび最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要

(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)

科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
	神経・運動制御理学療法学 特講演習Ⅱ	○	<p>(概要) 神経・運動制御理学療法学領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、具体的に立案した研究計画について、教員ならびに学生間で互いに研究の手法や計画について批判的に吟味し、中枢神経疾患の理学療法領域における意義についても議論する。また、研究の実現可能性、新規性、再現性、妥当性について討議することにより、神経・運動制御理学療法領域の研究を深く探求するとともに、各自の研究計画の質や研究遂行能力の向上を促す。 授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (1 藤原俊之/2回) 神経・運動制御理学療法学に対する理学療法、電気生理学的検査に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(5 松田雅弘/2回) 運動学・運動力学的分析手法、工学的分析手法を用いた理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(9 春山幸志郎/2回) 脳は筋電図コヒーレンス、ニューロリハビリテーション治療と理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(10 高橋容子/2回) 電気生理学的検査、歩行のシナジー性と非線形性に関する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(12 藤野雄次/2回) ニューロリハビリテーション治療、工学的手法を用いた理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(1 藤原俊之、5 松田雅弘、9 春山幸志郎、10 高橋容子、12 藤野雄次/5回) 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画についてのプレゼンテーションおよび議論を通じ、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p>	オムニバス方式
	運動器・スポーツ理学療法学 特講	○	<p>(概要) 運動器・スポーツ理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、関節疾患を中心とした運動器疾患や脊椎、下肢を中心としたスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態の理解を深めるとともに、関節疾患やスポーツ外傷・障害に関連する臨床的課題について最新の研究を探求し、臨床的・社会的・運動生理学的な視点からの批判的な討議を通して、最新知見についての理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (3 池田浩/3回) 運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療方針について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(4 相澤純也/4回) 膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について、身体機能だけでなく心理的な側面を含め、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(8 飛山義憲/4回) 股関節や膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について、疾患予防や進行予防を含め、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(11 宮森隆行/4回) 脊椎を中心とした運動器疾患、スポーツ外傷・障害に対する理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要

(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)

科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
	運動器・スポーツ理学療法 学特講演Ⅰ	○	<p>(概要)</p> <p>運動器・スポーツ理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、医学的診断方法から理学療法にわたる最新の研究論文を広く検索し、研究論文の批判的吟味を行い、学術的専門知識と研究のトレンドについて理解を深める。これらの理解を通じ、各自の研究に応用できる運動器・スポーツ理学療法領域の研究を遂行する。</p> <p>授業は演習形態で行い、各自の研究課題に関連する最新の研究論文に関する研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行うとともに、図表を含む研究成果発表に必要な技術を学修し、研究遂行技術を養う。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (3 池田浩/3回)</p> <p>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(4 相澤純也/4回)</p> <p>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(8 飛山義憲/4回)</p> <p>股関節や膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(11 宮森隆行/4回)</p> <p>脊椎を中心とした運動器疾患、スポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p>	オムニバス方式
	運動器・スポーツ理学療法 学特講演Ⅱ	○	<p>(概要)</p> <p>運動器・スポーツ理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の診療ガイドラインを広く検索し、学術的専門知識を深める。また、診療ガイドラインの内容から今後の臨床的課題を理解し、その臨床的課題を解決するための研究デザインや、方法、解析方法を考察し、論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる運動器・スポーツ理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、診療ガイドラインから推察される今後の臨床的課題から、自身の研究に応用できる研究デザインや考察についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (3 池田浩/3回)</p> <p>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(4 相澤純也/4回)</p> <p>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(8 飛山義憲/4回)</p> <p>股関節や膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(11 宮森隆行/4回)</p> <p>脊椎疾患を中心とした運動器疾患、スポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要

(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
	内部機能障害理学療法学特講	○	<p>(概要) 内部障害理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、内部障害の原因となる各種疾患についての病態の理解を深めるとともに、内部障害に関連する臨床的課題について最新の研究を探求し、臨床的・社会的・運動生理学的な視点からの批判的な討議を通して、最新知見についての理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (2 高橋哲也/5回) 循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法、急性期理学療法や、救急救命・集中治療の理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(6 森沢知之/5回) 呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法、回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p> <p>(7 齊藤正和/5回) 腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法、生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</p>	オムニバス方式
	内部機能障害理学療法学特講演習 I	○	<p>(概要) 内部障害理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の研究論文を広く検索し、研究論文の批判的吟味を行い、学術的専門知識と研究のトレンドについて理解を深める。また、自身の研究課題に関連するトピックスについて、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる内部障害理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。 授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。討議の資料作成を通して図表の作成方法など研究成果発表に必要な技術を学修することで、汎用性の高いテクニックを身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (2 高橋哲也/5回) 循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(6 森沢知之/5回) 呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(7 齊藤正和/5回) 腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要

(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ	○	<p>(概要) 内部障害理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の診療ガイドラインを広く検索し、学術的専門知識を深める。また、診療ガイドラインの内容から今日的臨床の課題に関連するトピックスについて、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる内部障害理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。 授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (2 高橋哲也/5回) 急性期理学療法や、救急救命・集中治療、循環器理学療法における理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(6 森沢知之/5回) 回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p> <p>(7 齊藤正和/5回) 生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</p>	オムニバス方式
演習・研究指導	神経・運動制御理学療法学特別研究	○	<p>(概要) 理学療法とそれをめぐる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p> <p>(1 藤原俊之) 神経・運動制御理学療法学の領域全般、ならびに主に電気生理学的検査による効果検証に関する研究指導を行う。</p> <p>(5 松田雅弘) 主にセンシング技術等のテクノロジーを活用した理学療法、小児領域、運動制御における工学的分析による中枢神経疾患の機能回復に向けた理学療法に関する研究指導を行う。</p> <p>(9 春山幸志郎) 主に運動学・運動力学的分析を活用した理学療法、神経筋疾患領域の疾患の進行予備ならびに機能回復に向けた理学療法に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 高橋容子) 主にロボティクスや電気生理学的検査を活用した中枢神経疾患の機能回復に向けた理学療法に関する研究指導を行う。</p> <p>(12 藤野雄次) 主にニューロモデレーションの効果検証や高次脳機能障害の機能改善のメカニズムの解明に向けた理学療法に関する研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(保健医療学研究科理学療法専攻博士後期課程)

科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
	運動器・スポーツ理学療法 学特別研究	○	<p>(概要) 運動器・スポーツ理学療法に関わる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p> <p>(3 池田浩) 主に運動器疾患の発症メカニズムの解明、発症予防および疾患の進行予防に向けた理学療法に関する研究指導を行う。</p> <p>(4 相澤純也) 膝関節を中心としたスポーツ外傷・障害の発症メカニズムの解明、発症予防およびスポーツ復帰に向けた身体的、心理的準備に寄与する理学療法に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 飛山義憲) 股関節や膝関節を中心とした関節疾患の発症メカニズムの解明、発症予防および疾患の進行予防に向けた理学療法、関節疾患に伴う健康寿命に関する研究指導を行う。</p> <p>(11 宮森隆行) 脊椎を中心とした関節疾患やスポーツ外傷・障害の発症メカニズムの解明、発症予防および疾患の進行予防や、術後の理学療法に関する研究指導を行う。</p>	
	内部機能障害理学療法学特別研究	○	<p>(概要) 理学療法とそれをめぐる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p> <p>(2 高橋哲也) 主に循環器疾患の機能障害や身体機能の変化を理解し、障害発生や機能改善のメカニズムの解明、発症予防および疾患の進行予防に向けた理学療法に関する研究指導を行う。</p> <p>(7 齊藤正和) 高齢内部障害患者に共通する臓器連関やサルコペニア、悪液質などの病態や機序を理解し、理学療法的視点から評価、治療に関する臨床的疑問を抽出し、研究仮説、研究計画の立案について学修する。</p> <p>(6 森沢知之) 主に呼吸器疾患を対象に、機能低下や能力障害発生のメカニズムの解明や発症予防および疾患の進行予防に向けた理学療法に関する研究指導を行い、研究計画の立案、研究実施、論文執筆等を指導する。</p>	

学校法人順天堂 設置認可等に関する組織の移行表

令和 6 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	⇒	令和 7 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由		
順天堂大学					順天堂大学						
医学部	医学科 (6 年制)	140	-	665	⇒	医学部	医学科 (6 年制)	105	-	630	臨時定員減員
スポーツ健康科学部	スポーツ科学科	0	-	0		スポーツ健康科学部	スポーツ科学科	0	-	0	令和 3 年 4 月 学生募集停止
	スポーツマネジメント学科	0	-	0			スポーツマネジメント学科	0	-	0	令和 3 年 4 月 学生募集停止
	健康学科	0	-	0			健康学科	0	-	0	令和 3 年 4 月 学生募集停止
	スポーツ健康科学科	600	-	2400			スポーツ健康科学科	600	-	2400	
医療看護学部	看護学科	220	-	880		医療看護学部	看護学科	220	-	880	
保健看護学部	看護学科	160	-	640		保健看護学部	看護学科	160	-	640	
国際教養学部	国際教養学科	240	-	960		国際教養学部	国際教養学科	240	-	960	
保健医療学部	理学療法学科	120	-	480		保健医療学部	理学療法学科	120	-	480	
	診療放射線学科	120	-	480			診療放射線学科	120	-	480	
医療科学部	臨床検査学科	110	-	440		医療科学部	臨床検査学科	110	-	440	
	臨床工学科	70	-	280			臨床工学科	70	-	280	
健康データサイエンス学部	健康データサイエンス学科	100	-	400		健康データサイエンス学部	健康データサイエンス学科	100	-	400	
薬学部	薬学科 (6 年制)	180	-	1080		薬学部	薬学科 (6 年制)	180	-	1080	
計		2060	-	8705		計		2025	-	8670	
順天堂大学大学院					順天堂大学大学院						
医学研究科					医学研究科						
	医科学専攻 (M)	60	-	120			医科学専攻 (M)	60	-	120	
	医学専攻 (4 年制 D)	180	-	720			医学専攻 (4 年制 D)	180	-	720	
スポーツ健康科学研究科					スポーツ健康科学研究科						
	スポーツ健康科学専攻 (M)	61	-	122			スポーツ健康科学専攻 (M)	70	-	140	定員変更 (9)
	スポーツ健康科学専攻 (D)	10	-	30			スポーツ健康科学専攻 (D)	10	-	30	
医療看護学研究科					医療看護学研究科						
	看護学専攻 (M)	29	-	58			看護学専攻 (M)	29	-	58	
	看護学専攻 (D)	12	-	36			看護学専攻 (D)	12	-	36	
保健医療学研究科					保健医療学研究科						
	理学療法学専攻 (M)	5	-	10			理学療法学専攻 (M)	8	-	16	定員変更 (3)
	診療放射線学専攻 (M)	5	-	10			診療放射線学専攻 (M)	8	-	16	定員変更 (3)
							理学療法学専攻 (D)	4	-	12	課程変更
							診療放射線学専攻 (D)	4	-	12	(認可申請)
国際教養学研究科					国際教養学研究科						
	国際教養学専攻 (M)	5	-	10			国際教養学専攻 (M)	5	-	10	
健康データサイエンス研究科					健康データサイエンス研究科				研究科の設置		
	健康データサイエンス専攻 (M)						健康データサイエンス専攻 (M)	20	-	40	(認可申請)
	健康データサイエンス専攻 (D)						健康データサイエンス専攻 (D)	6	-	18	
計		367	-	1116		計		416	-	1228	

※医学部医学科の収容定員は令和 11 年度及び令和 12 年度 (6 年次まで学年進行した年度) の収容定員